

助動詞レル・ラレルへの意味アノテーション作業経過報告

小山田由紀（国立国語研究所コーパス開発センター）[†]

柏野和佳子（国立国語研究所言語資源研究系）

前川喜久雄（国立国語研究所言語資源研究系）

An Interim Report of the Semantic Annotation of Auxiliary Verb *reru / rareru*

Yuki Oyamada (Center for Corpus Development, NINJAL)

Wakako Kashino (Dept. Corpus Studies, NINJAL)

Kikuo Maekawa (Dept. Corpus Studies, NINJAL)

1. はじめに

現在、助動詞レル・ラレルに対して意味のアノテーションを行っている。本稿では、その途中経過を報告する。このアノテーションは、レル・ラレルを意味別に分析するために必須であるとともに、文体分析の指標として受動文の生起率を計算するなどの目的にとっても必要である（Biber, 2009）。

周知のとおり、レル・ラレルには受身・尊敬・可能・自発の4つの意味があり¹、その相互関係に関する先行研究も多数発表されている。このレル・ラレルの多義性を自動分類する可能性を探るべく、今回は人手によるアノテーションを行った。また、受身・尊敬・自発・可能の4つの意味以外に、レジスターを特徴づける表現について、レル・ラレルを含む表現全体の属性とみなして分類を試みた。

2. 作業対象

今回の研究では『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（以下、BCCWJ と略す）のコーデータより抽出した、助動詞レル・ラレル全 7,906 件を作業対象とした。

コーデータ全体のレル・ラレルの出現数と語数（短単位数）とをレジスター別に表したグラフを図 1 に示す。レル・ラレルの出現数は各レジスターとも約 2 割であり²、出現数に特徴は見られなかった。語数も同じく各レジスターとも約 2 割であり違いが見られなかった。

また、書き言葉と話し言葉との比較のため、BCCWJ の国会会議録と『日本語話し言葉コーパス』（以下、CSJ と略す）も作業対象とした。国会会議録は中納言で抽出した助動詞レル・ラレル全 33,320 件から 1,666 件を、CSJ は全 43,590 件から 1,676 件をランダムサンプリングした。それぞれのサンプリング件数は、図 1 の値から各レジスター約 1,600 件と考える決定した。

[†] oyamada-y@ninjal.ac.jp

¹ 尾上（1998a,1998b,1999）では、レル・ラレルが後続する動詞や可能動詞などを述語とする文を「出来文」と捉え、通常の 4 分類に「意図成就」を加えた 5 分類を提唱している。

² OC（Yahoo!知恵袋）と OY（Yahoo!ブログ）は、同じ web のデータとして合計した。

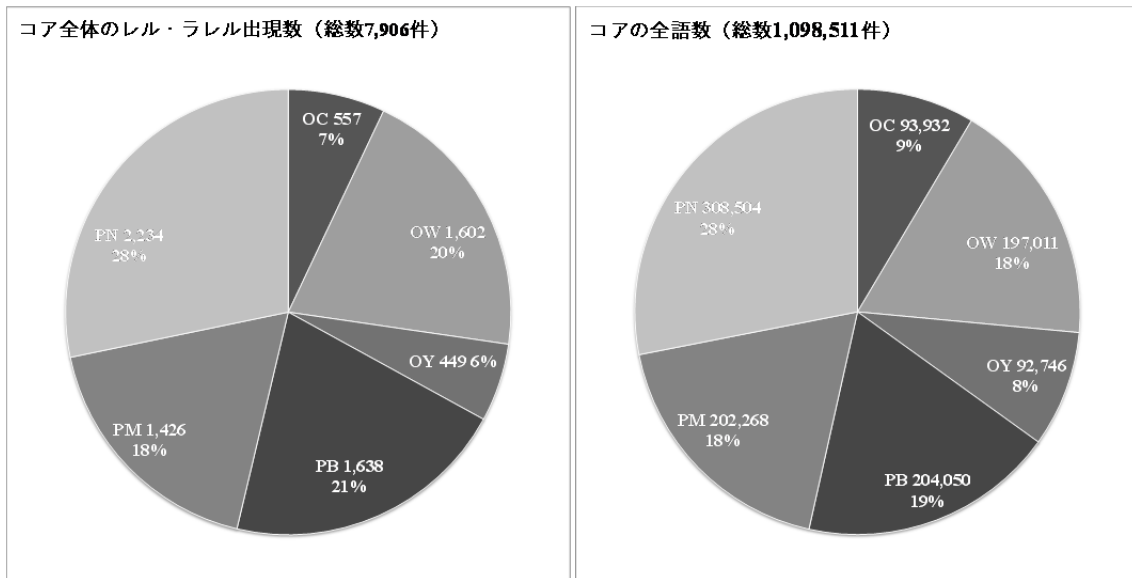


図1 BCCWJ コアデータにおけるレル・ラレル出現数と全語数

3. 作業経過

本章では、作業開始以来現在までの作業経過を時間に沿って記述する。

3.1. BCCWJ コアデータに対する内部での試行

まず細かな基準は定めずに、BCCWJ コアデータのサンプルID 下一桁が“1”の764件を対象に、筆者3名による判定を試行した。

次に、その判定結果を考慮してフローチャートを作成した。フローチャートは紙幅の関係で記載しないが、特徴としては、最初に動作主と態変換の有無を判定してからそれぞれの意味に分岐するというものであった。

また、新たに「受身（客観的）」という意味を追加した。これは「～と見られる」「～と考えられる」など、論文や白書、新聞などに使われる文体である。この種の表現についてはすでに志波(2009)が意味・構造的なタイプを分析しており、重なるところが多い。

3.2. 内部での再試行

BCCWJ コアデータのサンプルID 下一桁が“5”の556件を対象に、作成したフローチャートを基づいて筆者3名で再試行した。

3.3. 外部作業による試行

内部で判定作業済みの、BCCWJ コアデータのサンプルID 下一桁が“5”の556件を対象に、筆者らを含めない作業員2名に試行を依頼した。筆者3名と判定結果が異なるものや作業員からの質問に対して、作業マニュアルを作成した筆頭著者がコメントした。

3.4. 外部作業による判定作業

前節の外部作業員2名に、BCCWJ コアデータの残り7,350件の作業を依頼した。

その判定結果を考慮して判定項目を変更した。レル・ラレルの意味を4つに戻し、別項

目としてレル・ラレルを含む表現全体の特徴を判定する。詳細は次章で述べる。

そのため、BCCWJ コアデータ全 7,906 件に対して、変更後の判定項目に従って筆頭著者が判定・修正を行った。

3.5. 話し言葉データに対する判定作業

BCCWJ 国会会議録のデータ 1,666 件と CSJ データ 1,676 件を対象に、筆頭著者と外部作業員 1 名とで判定作業を行った。

上記作業における κ 統計値を表 1 に示す。この値から人手による意味判定作業の一致度は高いと言ってよいことが分かる。

表 1 意味判定作業の κ 統計値

作業経過	κ 統計値
1. BCCWJ コアデータに対する内部での試行	0.683
2. 内部での再試行	0.766
3. 外部作業員による試行	0.671
4. 外部作業員による判定作業	0.692
5. 話し言葉データに対する判定作業	0.864

4. 現状のアノテーションの項目と仕様

4.1. 概要

3.4.に述べた外部作業員による判定作業では、以下の問題が見つかった。

- 作業員はフローチャートどおりには作業していないと思われる。
- 助動詞レル・ラレルに対するアノテーションなのか、レル・ラレルが付いた表現全体に対するアノテーションなのかが不明確なまま作業を進めていた。

そこでフローチャートによる作業をやめ、判定項目を再度変更した。レル・ラレルの意味を 4 つに戻し、別項目としてレル・ラレルを含む表現全体の特徴を判定することにした³。現状の判定項目を図 2 に示す。

図 2 の表現全体の特徴の 3 項目について説明する。

「心情誘導」は、「～に癒される」「～に惹かれる」など、“動詞+(ラ)レル”全体で発話者の感情を表わし、自発の意味に近づく表現である。必ず意味は「受身」になる。出現数はかなり少ない。

「客観化」は、フローチャートでは新たに「受身 (客観的)」として追加した意味である。「～と思われる」「～と見られる」「～と言われる」など、“動詞+(ラ)レル”全体で発話者だけの意見でなく専門家や世論の見方として客観的な内容であるというニュアンスを持たせる表現である。意味は「受身」と「可能」のどちらかになる。

「存在確認」は、「～に傾向が見られる」「～に特徴が挙げられる」など、“動詞+(ラ)レル”全体で第一義の動詞の意味から離れ対象の存在を表す表現である。必ず意味は「可能」になる。

³ 態変換や影響の有無、動作主・対象・主語の特徴、結合価など、かなり細かな判定基準を設けて、実際の判定作業を行った。

「客観化」と「存在確認」のどちらも、志波(2009)がすでに指摘しており、どちらも論文や白書、新聞の文体に特徴的な表現である。

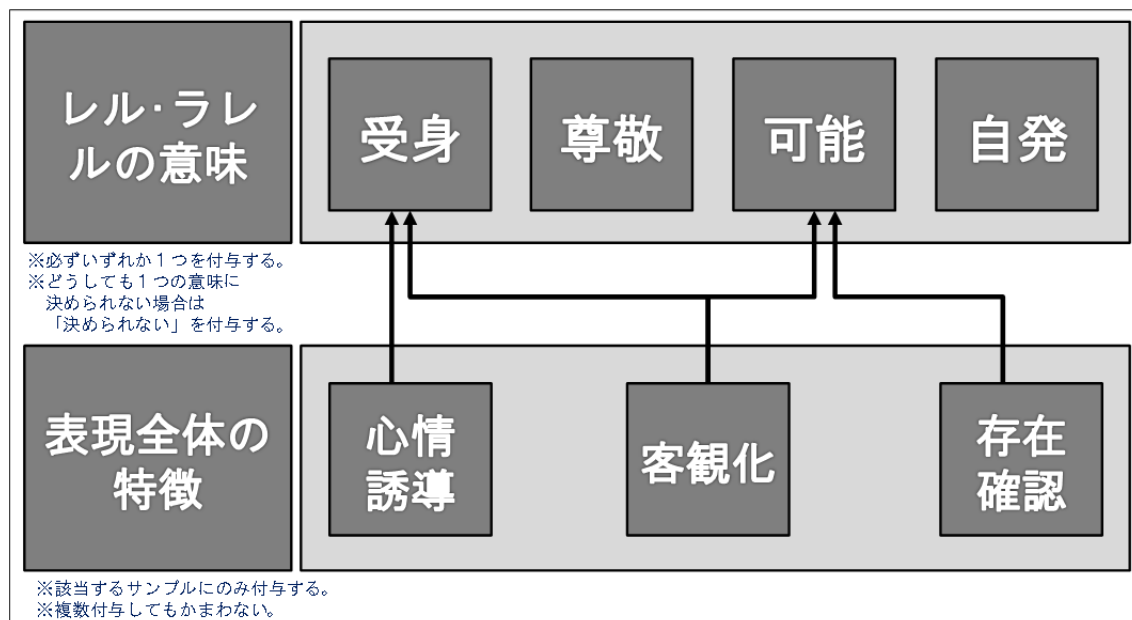


図2 現状のアノテーション項目

4.2. 客観化

論文や白書、新聞の文体に特徴的な表現である。「～と思われる」「～と見られる」「～と言われる」など、“動詞+(ラ)レル”全体でモダリティ表現に近い働きをし、発話者だけの意見でなく専門家や世論の見方として客観的な内容であるというニュアンスを持たせる表現である。志波(2009)がすでに指摘しているところであるが、本作業での仕様を分かりやすく図示したのが図3である。

志波(2009)との大きな違いの1つは、主たる事象に対する態度の表現と捉えている点である。そのため、志波が判断型としているものについても、係り受けと関係なく、客観化として同じように扱う。例えば、図3の「捜査はお蔵入りと見られる」は、主たる事象は「捜査はお蔵入り(だ)」であり、それに対する発話者の態度が「と見られる」で表わされていると考える。

もう1つの大きな違いは、志波(2009)が分析対象としているサンプルは受身文であり⁴、筆頭著者が作成したフローチャートでも「受身(客観的)」として意味を「受身」と考えていたが、レル・ラレルの直前語彙素(動詞)の種類⁵と動作主とアスペクトの組み合わせで付与するレル・ラレルの意味が異なるよう判断基準を変えた点である。表2に示す。

基本形は通常反復・超時のアスペクトと言われる。思考系動詞の基本形を「可能」とした理由は、以下のとおりである。

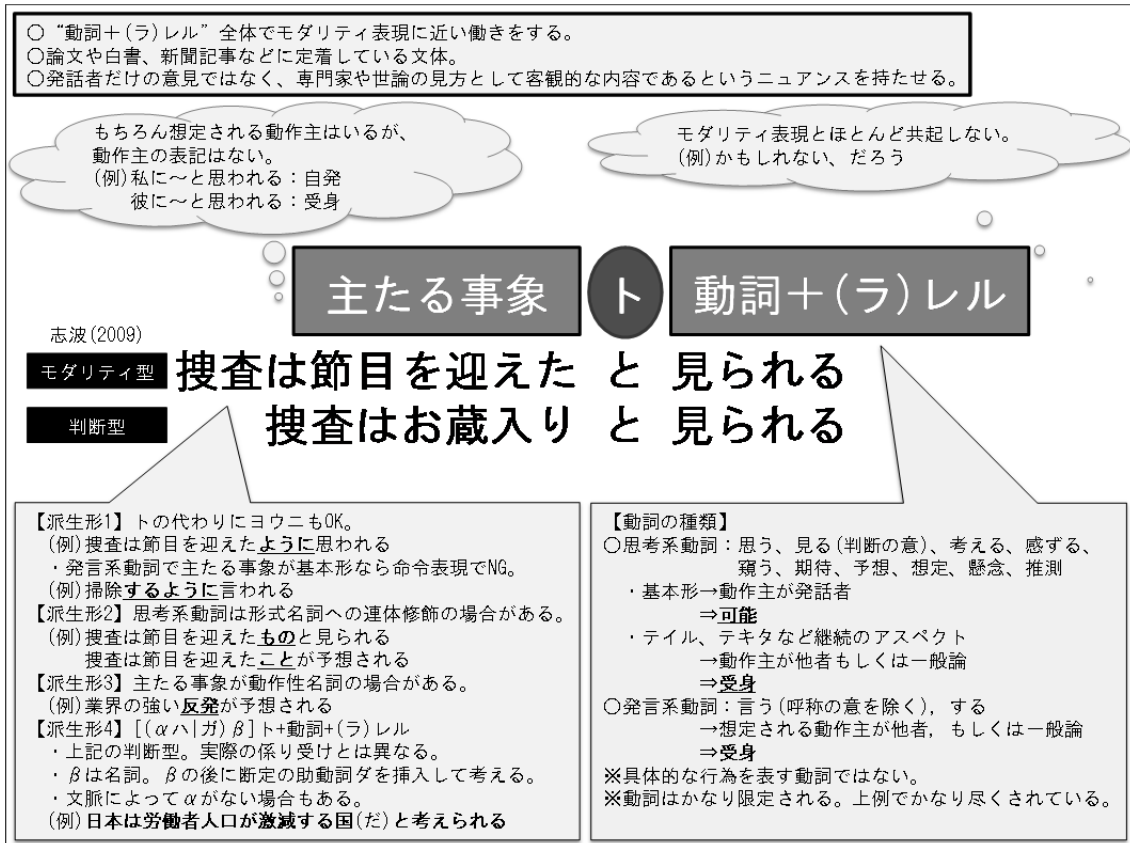
- 動作主が意図していないことが重要な「自発」とは考えづらい。

⁴ 「本研究は受身文を調査対象としている」と明記されている。「広義認識動詞に限り、自発・可能用法も調査対象に含めた」とあるが、合計202例中25例のみであり、多くが「受身」と捉えられている。

⁵ 動詞の意味が直感的に合うようにしているが、筆頭著者の恣意的分類である。

- 例えば論文などでは、思考を重ねた結論を述べる際に使われることが多く、ある程度事態は完了している。尾上(1999)の言う結果的成就を正面に出して表現する「意図成就」に近い表現と考える。

「存在確認」の意味を「可能」にしたことについても同じことが言える。



そのため、修正し切れていない可能性は否定できないが、現状の判定結果を表3に示す。85%強が「受身」、12%弱が「可能」である。4つのうちこの2つでほぼ占められる。

表3 BCCWJ コアデータの判定結果

	受身	尊敬	可能	自発	決められない
総計	6,771	169	944	19	3
割合	85.64%	2.14%	11.94%	0.24%	0.04%
客観化	222	0	332	0	0
存在確認	0	0	118	0	0
心情誘導	6	0	0	0	0

5.2. 話し言葉

話し言葉については、作業者それぞれの値を示す。

5.2.1. 国会会議録

国会会議録のデータ 1,666 件の判定結果を表4に示す。

特徴としては、「尊敬」の総計件数が異なることが挙げられる。国会会議録は対話形式であり、発話者や動作主をわざわざ発言しないという傾向が顕著である。そのため前後文脈から判断することになるが、発話者や動作主は何か、そもそも敬意を表しているのか不明なサンプルが多く、作業者によってその判断が分かれたのではないかと推測される。

表4 国会会議録データの判定結果

小山田 / 作業者	受身	尊敬	可能	自発	決められない	総計
受身	1,043	63	18	0	0	1,124
尊敬	17	351	1	0	0	369
可能	30	2	133	1	0	166
自発	3	1	1	0	0	5
決められない	0	1	0	0	1	2
総計	1,093	418	153	1	1	1,666

5.2.2. 『日本語話し言葉コーパス』(CSJ)

CSJ データ 1,676 件の判定結果を表5に示す。判定結果自体に大きな問題はなさそうである。

注意を要する問題として、ら抜き動詞の扱いが BCCWJ と CSJ で異なることがある。例えば「見れる」は、BCCWJ では動詞「見る」の一語形という扱いになるが、CSJ では動詞「見る」と助動詞「れる」の2語となる。本作業では、ら抜き動詞は9サンプルのみであったが、理論上は BCCWJ よりも CSJ の方が「可能」が多くなる可能性がある。

表5 CSJデータの判定結果

小山田 作業者	受身	尊敬	可能	自発	決められない	総計
受身	1,174	12	15	0	1	1,202
尊敬	7	53	1	0	0	61
可能	36	1	351	1	1	390
自発	1	0	0	1	0	2
決められない	4	2	10	0	5	21
総計	1,222	68	377	2	7	1,676

6. 考察

6.1. レジスターに関する考察

助動詞レル・ラレルの意味判定結果（筆頭著者の判定・修正結果）をレジスター別に表にしたものが表6である。出現数を100万語（短単位）あたりの生起数に正規化して示す。

表6 レジスター別の意味判定結果

	BCCWJ							CSJ		
	OC	OW	OY	PB	PM	PN	コア全体	国会	学会講演	模擬講演
受身	4,876	6,893	3,914	6,861	6,022	6,399	6,164	4,408	5,030	4,063
尊敬	596	5	248	211	163	42	154	1,447	175	267
可能	447	1,233	668	912	836	784	859	651	2,087	809
自発	0	0	11	44	25	13	17	20	8	8
決められない	11	0	0	0	5	3	3	8	87	67
総計	5,930	8,132	4,841	8,027	7,050	7,241	7,197	6,533	7,387	5,214

CSJには5つのレジスターが存在するが、ここでは用例の多い学会講演と模擬講演のみを扱う⁶。

まず、最も大きな特徴として、全体的に受身が圧倒的に多いことが分かる。

次に、レジスターによってレル・ラレルの意味の分布が異なり、その違いは対人配慮の有無が関係していると思われる。一般的に、対人配慮が多いレジスターはOC（Yahoo!知恵袋）と国会会議録であり、逆に対人配慮が少ないレジスターはOW（白書）とPN（新聞）とCSJ講演と考えられる。CSJ講演（特に学会講演）は不特定多数の聴衆を聞き手としているために、特定個人に対する対人配慮は生じにくいと考える。

- ① 「尊敬」はOCと国会会議録に多く、OWとPNに少ない。これは、「尊敬」は、対人配慮が必要なレジスターには生じやすく、対人配慮が少ないレジスターには生じにくいからだと説明できる。
- ② 「受身」は対人配慮が少ないレジスターに多く見られる。OW（となぜかPB⁷（書籍））に多く、OC、OY（Yahoo!ブログ）、国会会議録、CSJに少ない。
- ③ 「可能」も対人配慮が少ないレジスターに多く見られる。OWとCSJ学会講演に多く、

⁶ CSJの音声のタイプには、1学会講演、2模擬講演、3対話、4朗読と再朗読、5その他がある。

⁷ PBは小説や随筆など雑多であり、日本十進分類法（NDC）で分類すべきかもしれない。

OCに少ない。OWと学会講演に「可能」が多いのは、第4章に詳述した表現全体の特徴の「客観化」「存在確認」が多いからではないかと推測される。OCに「可能」が少ないのは、レル・ラレルよりも可能動詞を使う傾向があるからかもしれない。

6.2. 直前要素に関する考察

意味や属性の違いには、助動詞レル・ラレルの直前要素（主に動詞）が深く関わると考えられるため、BCCWJ コアデータ全 7,906 件に対する外部作業者 2 名の判定結果のうち判定が異なる（揺れる）サンプルについて考察を試みた。

レル・ラレルの直前語彙素を全体の個数順に表7に示す。動詞「⁺為る」は、「⁺為る」の直前語彙素が重要な場合がほとんどであり、「⁺為る」の直前語彙素も表にした。どちらも紙幅の関係で全体の上位 20 位を挙げる。表現全体の特徴の「客観化」「存在確認」に関する、思考系動詞（薄い灰色セル）と発言系動詞（濃い灰色セル）が出現数も揺れも多く、判定が難しいことが分かる。

表7 レル・ラレル直前語彙素（上位 20 位）

直前語彙素	揺れの個数	全体の個数	揺れ/全体		「 ⁺ 為る」直前語彙素	揺れの個数	全体の個数	揺れ/全体
為る	192	3006	6.39%	→	と	117	174	67.24%
行う	1	323	0.31%		開催	0	65	0.00%
言う	63	299	21.07%		期待	20	60	33.33%
見る	96	230	41.74%		実施	0	54	0.00%
考える	35	163	21.47%		化	0	44	0.00%
呼ぶ	0	125	0.00%		に	0	41	0.00%
開く	0	110	0.00%		逮捕	0	41	0.00%
使う	0	91	0.00%		設置	0	37	0.00%
求める	4	90	4.44%		発表	0	36	0.00%
思う	45	81	55.56%		予想	15	35	42.86%
知る	1	67	1.49%		注目	0	34	0.00%
認める	11	65	16.92%		指摘	0	31	0.00%
居る	3	62	4.84%		利用	1	30	3.33%
得る	10	60	16.67%		使用	0	28	0.00%
含む	0	58	0.00%		決定	0	25	0.00%
作る	0	53	0.00%		評価	0	23	0.00%
書く	0	43	0.00%		構成	0	22	0.00%
置く	0	42	0.00%		採択	0	22	0.00%
付ける	1	40	2.50%		紹介	0	20	0.00%
成す	0	39	0.00%		導入	0	20	0.00%

そこで、思考系動詞は「感ずる⁸」「思う」「見る」「考える」、発言系動詞は「言う」「⁺為る」を代表動詞として、今後の作業で揺れが生じないよう典型例を載せた表8を作成した。

⁸ 「感ずる」は、上の表に載っていないが 22 位である。（揺れの個数：17 件 全体の個数 33 件 揺れ/全体：51.52%）

表8 思考系動詞・発言系動詞の典型例

レル・ラレルの意味	表現全体の特徴	レル・ラレルの直前要素				コメント
		感ずる	思う	見る	考える	
尊敬	-	<p><PM41_00070> このときの一件は、皇后も不快に感じられていたようです。</p>	<p><OC06_02966> 販売代理店に勤める友人のついでで車、新古試乗車を買う予定です。どのくらい値引きが可能だとおもわれますか？</p>	<p><PN2d_00022> 新規投資はもう少し様子を見られたほうが良いと思われれます。</p>	<p><OC08_01893> 運用を考えられないなら、貯金はどこも目くそ鼻くそですね。定期といえども、です。</p>	<p>《感ずる》《見る》 ・少数。 《考える》 ・本例のみ。おかしな表現。</p>
自発	-	<p><PB39_00023> どこかこの世ではない場所、海ではなくて空に近い場所まで横たわっているみたいに感じられた。波が全身をくすぐるように揺れ、本当に、気を失いそうなくらい気持ちよかったです。</p>	<p><PN1f_00012> 昨秋の審査に寄せられた候補者たちの姿は頼もしく思われた。</p>			
可能	-	<p><OW6X_00077> 宿泊と食事の分離を行い、合理的で選択の自由を感じられるサービスの提供に取り組む動きができてきている。</p>				<p>《感ずる》 ・基本的には、動作主が他者や一般論である。 ・発話者の感情の表現であるのに、自発より可能を強く感じる例がある。 <PM12_00020> もちろん警察は、不幸な事故と判断した。だが私には、お前の殺意が感じられた。</p>
可能	存在確認			<p><OW6X_00032> また、業種によって回復時期に差がみられる点には留意が必要である。</p>		<p>・本来の知覚の意味が薄れているため、受身とは考えづらい。 ・動作主が意図していないことが重要な自発とも考えづらい。 ・“存在の知覚⇒確認⇒提示”という手順を踏んでおり、ある程度事態は完了している。動作主の意図の有無は不明だが、結果的成就を正面に出して表現する「意図成就」に近い表現と考えられる。 ・対象が具象名詞であったり、アスペクトが完了の意味であったりすると、本来の知覚の意味が強くなる。</p>
可能	客観化	<p>①<OY15_07462> 帰宅した相手。おそらくどこか（路上？）で寝ていたものと思われる。</p>				<p>・末尾はル形。 ・動作主は発話者。 ・細分化すると以下の4つ。 ①発話者の個人的意見。 専門家や世論の見方ではないが、客観的な内容であるというニュアンスを持たせようとする意図を感じる。 ②発話者自身が専門家。思考を重ねた結果ある程度事態は完了している。結果的成就を正面に出して表現する「意図成就」に近い表現と考える。 ③専門家の見方を加味している。 ④発話者の意見だけでなく一般論でもある。</p>
		<p>②<PB11_00021> 目に見えない世界を扱う霊能者を低く評価する傾向があるようにも感じられるのですが、</p>	<p>②<PN2d_00022> 新規投資はもう少し様子を見られたほうが良いと思われます。</p>	<p>②<PB48_00016> 女たちの用語には何にでもオチが付くから、これもその例の一つと見られる。</p>	<p>②<OW6X_00003> 多様な需要に応えられる環境を土地市場にもたらすとともに、新たな土地需要を喚起していると考えられる。</p>	<p>②発話者自身が知覚行為をしていないことがほとんどのため違和感あり。 ③発話者自身が情報元を丸括弧による明示。最も保守的で「ブッシュ氏の本来の信条に一番近い存在」（クリントン前大統領の報道官だったロックハート氏）とみられる。 <PN1d_00004>：発話者の調べではない。調べでは、ネズミ類やイタチなどの小動物のミイラとみられる。</p>
		<p>④<OW6X_00234> 一般的にインターネット利用等の機会に接しやすいと思われる勤務者や学生</p>	<p>③<PN3d_00019> 死体遺棄現場の山林付近に残されたタイヤの跡は、比較的新しいタイヤでできた跡とみられる。</p>	<p>④<PM41_00071> 月刊誌『ブブカ』に、ベッドの上で彼女と裸で抱き合っている写真や、明らかにタバコを吸っているものとみられる写真が掲載されてしまったのです。</p>	<p>④<PN4b_00007> うかつに個人情報を送ると、ある日突然、ネットショッピングによる高額請求が舞い込むといったことが考えられる。</p>	<p>②少数。本例も二重否定で特殊な例。 ③発話者自身が知覚行為をしていないことがほとんどのため違和感あり。 ④発話者自身が情報元を丸括弧による明示。最も保守的で「ブッシュ氏の本来の信条に一番近い存在」（クリントン前大統領の報道官だったロックハート氏）とみられる。 <PN1d_00004>：発話者の調べではない。調べでは、ネズミ類やイタチなどの小動物のミイラとみられる。</p>
受身	客観化		<p><PB39_00010> 三村氏はためらう夫人を説得して、早々に結婚してあげたのだと見られている。</p>	<p><PM51_00213> 例えばカリフォルニア沖約三十キロにあるサンタ・バーバラ諸島は、米大陸と陸続きになったことはないと考えられている。</p>	<p>・アスペクトは継続の意味。テイル・テキタなど。 ・動作主は他者もしくは一般的に。 ・一般論に多い表現。 ・思考は既に完了し、その思考内容は否定されずに継続している。</p>	
受身	-	<p>①<PN4a_00017> 概念がDNAという化学高分子で説明されたことから、「遺伝子決定論」の勝利は確定的と思われた。ネズミの子がネズミになるのは遺伝子の配列を認めればわかる、と考えられたからだ。</p>	<p>①<PN1d_00001> 取支見込みも、当初は数年間の赤字が必至とみられていたが、</p>	<p>①<PN4a_00017> ネズミの子がネズミになるのは遺伝子の配列を認めればわかる、と考えられたからだ。</p>	<p>・単純に事実。 ・細分化すると以下の2つ。 ①完了したイベント。アスペクトは完了。動作主は他者もしくは一般的に。 ②典型的な受身。他者から影響を被る。</p>	
		<p>②<OC08_02391> サインしてしまった以上、認めたと思われてもしかなかったりありません。</p>	<p>②<OC14_00041> 他人に見られたら、嫌だと言う品は「評価不要」で御願ひしませう。。。</p>		<p>《考える》 ・少数。</p>	

レル・ラレルの意味	表現全体の特徴	レル・ラレルの直前要素		コメント
		言う	為る	
尊敬	-	①<PM41_00070> 美智子皇后は、『皇室の伝統は、祈りと継承です』と常々 言 われています。	①<OY14_16795> みなさんの中で「ギクッ（*▽*）」と され た方もいるでしょう。	
自発	-			
可能	-	①<PB48_00016> ゴサまたはゴサンという語を用いつづけていたという証拠は、絶対に挙げられないとは 言 われぬが		《言う》 ・少数。 ・発話者の発言。
可能	存在確認			
受身	客観化	①<PN2e_00008> 「生活館」は一時閉鎖を余儀なくされ、「億単位の損失」（関係者）を出したとも い われる	①<PN2e_00008> 気を吐くホームセンター業界の背景には「ガーデニングとペットブームがある」（業界関係者）と され る	<ul style="list-style-type: none"> ・アスペクトに関係なく ・動作主は他者もしくは一般的に。 ・細分化すると以下の3つ。 <ol style="list-style-type: none"> ①政治ネタなど出所が怪しい情報を客観的な表現にしている。情報の発信者の丸括弧による明示が多い。 ②発話者の意見でもあるが、断言を避けている。 ③一般論。
		②<PM41_00071> 中村は、日本代表には欠かせない存在ですが、彼の活躍に危機感を抱いているのが中村だと 言 われています。	②<PN1d_00010> 約三億七千三百万円だけを申告、法人税約八千九百万円を脱税したと され る	
		③<PN3b_00016> 二十三日は二十四節気の一つ「大暑」。1年で最も暑さが厳しい日と い われるが、東日本の各地で涼しい朝を迎えた。	③<PM41_00026> その間に行われた著作権侵害の被害額は、一説では数千億円にも上ると され ている	
受身	-		①<PB35_00013> 塗料には植物百分のAUR O社のものが標準と され ているのです	<ul style="list-style-type: none"> ・単純に事実。 ・細分化すると以下の3つ。 <ol style="list-style-type: none"> ①法律など決定されていること。 ②完了したイベント。 ③典型的な受身。 ・他者から影響を被る。
		②<PM41_00093> 平安時代は藤原氏の権勢と共に栄え、国家に異変がある時にはこの山が鳴動すると い われ、御破裂山と恐れられるようになった	②<PB22_00002> 慶喜は賢明のほまれ高く、すぐにも将軍が勤まると され た	
		③<OC03_00375> 今から4年ほど前に母親に「ローン組めないようにしたから」と 言 われました	③<OC04_01067> 貴方が知り合いにお金などを貸して知らぬ顔を され たらどうでしょうか？	

6.3. 結論

本作業の結果、レジスターによってレル・ラレルの意味の分布が異なり、その違いは対人配慮の有無が関係していることが明らかになった。また、意味や属性の違いにはレル・ラレルの直前要素（主に動詞）が深く関わっていることも判明した。

7. 今後の展開

いわゆる「迷惑の受身」についての分析を行う予定である。

また、本稿では言及しなかったが、機械学習もすでに試行しているので、別の機会に報告したい。最終的には BCCWJ 全体 784,935 件（コアデータ 7,906 件を含む）を対象に自動アノテーションを施したいと考えている。

参考文献

- D. Biber (2009) *Register, Genre, and Style*. Cambridge Univ. Press.
- 庵功雄 (2001) 『新しい日本語学入門 ことばのしくみを考える』
- 尾上圭介 (1998a) 「文法を考える 5 出来文(1)」『日本語学』17 巻 7 号
- 尾上圭介 (1998b) 「文法を考える 6 出来文(2)」『日本語学』17 巻 10 号
- 尾上圭介 (1999) 「文法を考える 7 出来文(3)」『日本語学』18 巻 1 号
- 川村大 (2004) 「受身・自発・可能・尊敬—動詞ラレル形の世界—」『朝倉日本語講座 6 文法 II』
- 志波彩子 (2009) 「認識動詞の非情主語受身文—「見られる」「思われる」「言われる」「呼ばれる」を中心に—」東京外国語大学『日本研究教育年報 13』